

認知症による「もの忘れ」

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」は区別のつきにくいものですが、年のせい？と思ってもそのままにせず、医療機関を受診しましょう。体験したこと自体を忘れるなど、日常生活に支障をきたす様子が見られたら認知症が進んだ状態です。

加齢によるもの忘れ

忘れたことを自覚している



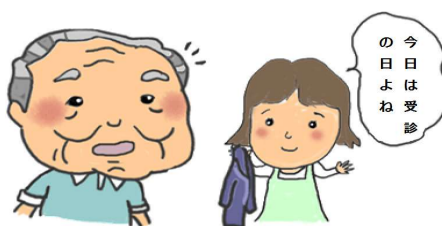
目の前の人
誰であるかはわ
かるが、名前が
思い出せない



食べたことは
わかるが、
何を食べたか
思い出せない



曜日や
日付を間違
えることが
ある



物の置き場所を
思い出せないこと
がある



認知症によるもの忘れ

忘れたことを
自覚できない



目の前の人
が誰だかわ
からない



食べたこと
自体を忘れて
いる



月や季節が
わからなくな
る



置き忘れ、
紛失が頻繁
になるが
自覚がない



「認知症によるもの忘れ」
がみられる。

受診については10頁へ